

第26回「環境放射能」研究会プログラム

会場：高エネルギー加速器研究機構 小林ホール/ラウンジ

2025年3月12日(水)

開会 (13:00 - 13:15)

開会挨拶 (日本放射化学会・久保謙哉会長)

概要・注意事項説明 (事務局)

セッション1 (13:15 - 14:05)

- O-1 福島周辺海域における海水中の¹²⁹I濃度の経時変化
原子力機構 鈴木崇史
- O-2 極東海域の底層水と堆積物間のプルトニウムの分配について
富士山環境研究セ 廣瀬勝己

セッション2 (14:20 - 15:05)

- O-3 Sr, Pu分析から予想される福島原発事故により放出された放射性微粒子の生成過程
大阪大院理 五十嵐淳哉
- O-4 高エネルギー加速器施設における電源ケーブル被覆中³⁶Clの定量
筑波大 木村龍拓

依頼講演 (15:25 - 16:25)

- (依頼講演-1) ALPS処理水の海洋放出の放射線影響 - シミュレーションによる評価と検証 -
筑波大放射線・アイソトープ地球システム研究センター 津旨大輔

ポスターセッション - 1 (16:35 - 17:55)

・奇数番ポスターコアタイム

3月13日(木)

セッション3 (9:00 - 10:15)

- O-5 河川水中放射性 Cs 現場濃縮システムに用いる懸濁物質ろ材の検討
明治大院理工 高橋亘
- O-6 A review of ^{137}Cs transfer mechanism for surface water fish off Fukushima
福島大環境放射能研 立田穰
- O-7 2024年度に帰還困難区域の山地溪流で採取したカエル類の Cs-137 濃度について(速報)
茨城大GLEC 中里亮治

セッション4 (10:30 - 11:35)

- O-8 福島県内の土壌から採取した不溶性セシウム粒子による細胞影響解析
東北大災害科学国際研 鈴木正敏
- O-9 低濃度持続処理によるヒト細胞内へのトリチウムの取り込み・局在とDNA二重鎖切断誘発との関連性
東北大災害科学国際研 和泉哉汰
- O-10 福島第一原発事故に被災した野生ニホンザルの外部被ばく評価と血漿、肝臓における酸化ストレス状態解析
東北大災害科学国際研 佐藤拓

セッション5 (12:45 - 13:50)

- O-11 想定した様々な事故シナリオに対する連続放射線監視モニタの測定値の解析
原子力機構 佐藤俊
- O-12 歯のエナメル質を用いた ESR 線量測定法の吸収線量応答曲線の改良
東北大学院理 林哲平
- O-13 イメージングプレートによる歯中放射性核種濃度定量法の開発と検出下限値の検討
東北大学院理 尾田晃平

ポスターセッション - 2 (14:00 - 15:20)

・偶数番ポスターコアタイム

依頼講演 (15:35 - 16:15)

(依頼講演-2) ALPS処理水の海洋放出によるトリチウム動態

福島大環境放射研究所 高田兵衛

セッション6 (16:35 - 17:25)

O-14 海藻試料を用いた極低濃度レベル有機結合型トリチウム分析

弘前大院保健学 桑田遥

O-15 ケイ酸バリウムを主成分とするストロンチウム収着剤の収着特性

愛知医大医 緒方良至

懇親会 (18:00 - 19:45)

3月14日(金)

セッション7 (9:00 - 9:55)

O-16 バイオアッセイ迅速分析法の確立に向けた検討

原子力機構 松尾一樹

O-17 マルチコレクタ型ICP-MSを用いた高濃縮ウラン中の極微量²³³U精密測定

原子力機構 富田純平

セッション8 (10:10 - 10:55)

O-18 Seasonal variation and Inhalation dose assessment of lead-210 and other radionuclides in PM2.5 from Osaka, Japan

大阪産業大 Kanyanan Kosinarkaranun

O-19 青森県六ヶ所村における大気環境中のトリチウム濃度の時系列推移

環境科学技術研究所 天野洋典

閉会 (11:15 - 11:40)

研究会奨励賞表彰式

閉会挨拶 (高エネ研放射線科学センター・佐波俊哉センター長)

ポスター発表

ポスターセッション - 1 (奇数番ポスターコアタイム) 3/12 16:35 - 17:55

ポスターセッション - 2 (偶数番ポスターコアタイム) 3/13 14:00 - 15:20

- P-1* 福島県沖で採取した水産物の放射性核種測定と分析手法の検討 (*発表時間 3/13)
原子力機構 小荒井一真
- P-2 帰還困難区域の山地溪流におけるサワガニの放射性セシウムの動態
茨城大理 佐竹葉月
- P-3 海水魚への元素の濃縮係数: 予備的研究
量研機構 田上恵子
- P-4 海藻中ウラン濃度の季節変化について
量研機構 田上恵子
- P-5 ボックスモデルを用いたニジマス体内の Cs-137 の時間変化のモデル化
筑波大 永山涼太
- P-6 水圏生態系における放射性物質蓄積の出発点と移行・濃縮経路
東京大 鈴木譲
- P-7 山地溪流の水生昆虫に含まれるセシウム¹³⁷濃度: 食性、体部位による違い
福島大環境放射能研 金指努
- P-8 増水時の阿武隈川における懸濁態 ¹³⁷Cs の濃度変化
福島大共生システム理工 鈴木信弘
- P-9 福島県内におけるイノシシの放射性セシウム濃度の長期モニタリング
福島県環境創造セ 小松仁
- P-10 歯を基準とした被災アカネズミ放射線量の体内分布と排泄動態
東北大院歯 篠田壽
- P-11 家畜牛の原子力災害関連死: 中通りから会津地域の獣疫学調査
量研機構 高菽真彦
- P-12 歯のQL値におよぼす ⁹⁰Sr と ¹³⁷Cs の関与
東北大病院 秋山なつみ
- P-13 福島県浜通りで捕獲されたニホンザル臓器中の放射性セシウム濃度の測定
東北大理 長原辰弥
- P-14 六ヶ所村内の牧草地におけるHT沈着速度の測定
環境科学技術研究所 永井勝

- P-15 The Regional Distribution of Tritium Concentrations in Surface Water Collected from Dams and Reservoirs across Thailand.
大阪産業大 Chonlada Pitakchaianan
- P-16 Validation of stochastic method on track density analysis for passive radon measurement
量研機構 Hu Jun
- P-17 福島第一原子力発電所周辺環境中でのコケバッグを用いた放射性ダスト観測
原子力機構 土肥輝美
- P-18 ボックスモデルとの関連に基づいた大気中 Cs-137 濃度の長期的な乗減衰の予測
筑波大 山本一輝
- P-19 宮城県大崎市放射能ごみ焼却におけるリネン吸着法による大気中へのセシウム粉塵漏れ調査
市民放射能監視センター 青木一政
- P-20 「黒い雨」領域推定のための基礎的研究 最近の進捗
京都大複合研 五十嵐康人
- P-21 林地における RCs 存在量の評価手法に関する検討
農研機構 井倉将人
- P-22 浪江町赤宇木地区住民による11年間の放射線モニタリング結果:航空機モニタリングとの比較検討
京都大複合研 今中哲二
- P-23 3.11 後の市民放射能測定活動 ～質問紙調査結果から～
みんなのデータサイト 藤田康元
- P-24 プラスチックシンチレータ薄膜を積層したトリチウム検出用デバイス
電気通信大 渡辺裕夫
- P-25 Effect of soil depth on the soil-soil solution distribution coefficient of ¹³⁷Cs
量研機構 Sergei Danilov
- P-26 Characterization of ²³⁷Np and Pu isotopes in fallout and soil reference materials using SF-ICP-MS
量研機構 鄭建
- P-27 Depth profile of radionuclides induced in concrete walls of different locations at J-PARC accelerator facilities
総研大 Bui Ngoc Thien
- P-28 J-PARCハドロン実験施設の一次ビームライン機器冷却水中における放射性核種生成
高エネ研 別所光太郎